

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所まある		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムがしっかり出来ている 発達に合わせた個別支援が出来ている	・年間を通して集団活動のプログラムを作成し、ねらいや取り組み方、子どもたちの年齢や発達段階に応じた支援方法を考慮して実施しています。また、活動後には振り返りを行い、必要に応じて修正しながら取り組んでいます。運動・制作・感覚遊び・わらべ歌・手遊びなどを取り入れ、子どもたちが楽しみながら参加できるよう工夫しています。 ・個別支援の課題は学生にも協力してもらい、種類を豊富に用意することで、子ども一人ひとりの発達段階や特性に合わせた個別的な支援が行えるようにしています。	今後も計画的に支援していけるように努めていきます。
2	職員体制・送迎体制が手厚い	・基本的に支援は1対1で対応できる体制を作っています。また、送迎に関しても必ず運転・引率の2人体制で行く事が出来ています。	今後も体勢を維持し安全に利用できるように努めていきます。
3	保護者・職員のニーズに応える体制ができている	・怪我の報告やアレルギーの確認、保護者からの要望については迅速な対応を心がけています。また、保護者や職員からの意見を全体で共有し、必要に応じて話し合いの機会を設けることで、より良い支援につなげていけるよう努めています。	保護者の方からの意見や要望等に今後も迅速に対応し、安心して通ってもらえ環境を整えていきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	リハビリの専門職がない	保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師などの有資格者がいますが、OT・ST・PTなどのリハビリの専門職がいません。発達支援やソーシャルワーク支援は強みの部分ではありますが、リハビリ的な専門職を保護者の方から求められることが多く弱みと感じています。	不定期ではありますが、PTに来てもらい、アドバイスを頂いています。職員が個別に研修等に行き専門的知識を学習していたり、法人内での学習会に参加するなど研修する機会を設けています。今後も外部から来てもらう機会を設けたり研修に参加していきます。
2	外出する機会がない 支援時間が短い	限られた時間の中で、外出支援や見学などの機会を作ることが出来ていません。	日々の支援の中では外出は難しいですが、父母の交流会などの機会等の企画の中で、そのような機会を作っていくことも検討していきたいと思っています。
3	父母同士の交流が少ない	昨年度父母の交流会を企画しましたが、参加率が悪かったこともあり、今年度は企画段階で終わってしまい、実行に移すことができませんでした。ニーズがあるという事がわかりましたので、今後の検討課題として取り組んでいきたいと思えます。	父母の交流できるものを年間行事に組み入れ行っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所まある		公表日		2026年3月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	遊具で遊んでもらいたい気持ちがあるが鬼ごっこなど走り回る遊びが好きな子もいるのでスペースが確保できたらいいと感じる スペースを区切って分けている	広いスペースで遊べる日を設定するなども検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	職員の休みや痲痺などの対応時に手薄になると感じる 年齢などや人数に合わせた職員配置を行っている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	視覚的に分かるような掲示や表示がされている。 様々な特性の利用児がいるため、すべての特性に配慮できている空間ではないかもしれないができる範囲での環境作りをしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎週の消毒、定期的な清掃 毎日清掃と、週一回の遊具消毒を行っている。空気の入替えもやっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個室空間がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	会議や個別に意見交換している 月1回のフロア会議・職員会議にて共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	意見をもとに改善している 改善策を共有し、実施している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	設けているわけではないが、相談し合える関係性が職員感でできていると思う。 環境を変えるとき、意見を聞いている 会議にて改善点を共有し、実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	分からない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	適宜研修を受けている。 年次に合わせた研修と研修の情報を提示し呼びかけている 年次や資格に合わせて、一人一回以上の外部研修を受けている。内部研修は全員で受講し、1回以上実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	発達段階に応じた5領域に合わせて、児童発達支援管理責任者が作成し、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	ここに合わせた児童発達支援計画を作成している 担当支援員や児発管で共有図り、アセスメント		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	担当支援員や児発管で、小まめに情報を共有している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	共有し、計画に沿って支援を進めている。 アプリを通してパソコンやスマホにて確認・共有している。計画に沿った支援を実施して		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	発達段階表や日々の様子を元に、アセスメントをしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	項目が設定され、具体的な支援内容も設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	5領域を元に、活動内容をチームで決めている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎回活動の内容を変更している。 午前は週ごと、午後は毎日(曜日ごと)に違う活動プログラムを行っている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子どもの発達状況に応じて、個々に合わせた支援を行っている。 こどもの苦手や得意に合わせて、適宜組み合		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝のミーティングで確認している。 朝のミーティングにて全体共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	個々に何かあった時のみしているが、全体ではしていない 必要に応じて情報共有を行っている。	個別に児発管と担当と振り返りやケース会議を定期的に行っています。現在も行っていましたが不定期になってしまったので定期的に行えるようにしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々記録をとり、保護者や職員と情報共有しながら検証、改善に向けて取り組んでいる 毎日行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングや計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	関係機関や担当支援員が同席している。	法人内での共有、連携は定期的に行うことが出来ています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	怪我などに備えて、病院の了承のもと、事業所のかかりつけ病院を決めている。保育所等訪問や電話にて関係機関との連携・共有を	怪我などに備えて、病院の了承のもと、事業所のかかりつけ病院を決めている。保育所等訪問や電話にて関係機関との連携・共有を
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	連携・共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	支援センターからは来ていないため、機会を作れたらと思う。	支援センターから年1回訪問に来ていることを全員に周知していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々のやりとりのなかで、子どもの発達状況について共通理解を持てるように心がけている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	面談時に、ペアレント・トレーニングの紹介などをすることがある。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	面談や送迎時、連絡ツールを活用し、日々やりとりを行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	今年度は日程を確保することが難しかった 保護者同士の交流の場は設けられていないため、機会を増やすことができれば良いと思う。	

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	連絡ツールを使用し、発信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	法人内のお祭り行事に地域住民を招待している。	次年度は利用児への呼びかけを強化していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	それぞれの発生に合わせた訓練を実施している。 定期的実施している。	次年度も継続して訓練を行っていくこと、マニュアルの周知を再度行っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	研修を受けたり、避難訓練を行ったりしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを共有、振り返りを行ったうえで環境整備を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	毎月虐待防止についての自己チェックを行っている。また、年に数回研修も受けている。毎月自身の支援についてのセルフチェックを	次年度も自己チェックを継続していきます。また、研修についても引き続き行っていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	やむを得ず身体拘束を行う状況についての3項目を理解している。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 まある

公表日 2026年 3月 27日

利用児童数 37人

回収数 66.70%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	3			子どもが身支度しやすいように入り口を模様替えするなど工夫が見られる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	7	1		幼稚園と他事業所との懇談に参加してもらった	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	6	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1			利用回数が減ってから話す機会も減った為、満足には出来ていない	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				出来ることが増えたり成長が見られると喜んでくれているので嬉しく思う	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	8	2		事業所側も保護者側もなかなか時間的余裕がないかと思いますが、保護者会などで情報共有できる場があるとうれしいです。	保護者会など交流できる機会を設けていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	3			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	3		送迎時の安全マニュアルなどをわかりやすく提示していただけるとうれしいです。複数名送迎時の降車時の安全管理などにどの程度配慮されているのか知りたいです。	保護者の方にもわかりやすい安全マニュアルの提示を行っていく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	4		訓練は行われているが、建物が古いのか壁に亀裂が入っているところがあるので地震など大丈夫かなと思ったことはあります。建物の方の問題であれば、すぐに改善も難しいのかもしれないが少し気になりました。	すぐには解決が難しい課題ですが、意見として受け止めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	4			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22				
	29	事業所の支援に満足していますか。	22			いつもご支援いただきありがとうございます。今後とも何卒よろしく願います	